



ヨコハマの活力を前に。

横浜市長選挙
立候補表明会見

田中康夫

YOKOHAMA2025 発想を変え・選択を変え・仕組を変える

フェア	オープン	シンプル	ロジカル
公正	透明	平易	納得
FAIR	OPEN	SIMPLE	LOGICAL

的確な認識・迅速な決断と行動・明確な責任

「出来る時に 出来る事を 出来る場で 一人ひとりが 出来る限り」



2025年6月2日

横浜開港166周年記念日

ホテルニューグランド レインボーボールルーム

討議資料

YOKOHAMA 2025

造るから治す、護る、そして創るへ。

政令指定都市こそ「地域分散型で世代分断型ではない総合サービス産業」
「開国の地 ヨコハマ」から「ニッポンの改国」を

「出来る時に 出来る事を 出来る場で 一人ひとりが 出来る限り」





「脱・お役所対応」宣言に基づく ミッション&アジェンダ 20

- ① 不透明な「横浜みどり税」を即時撤廃
- ② 川崎市民と同等の税負担感を早期実現
- ③ 閉ざされた市長公舎（野毛山）と本庁舎最上階（本町）を市民に全面開放
- ④ 市政 24 時間目安箱「#8045」を開設
（「脱・縦割り行政」で市長・副市長・局長・区長・部長・課長が電話対応）
- ⑤ 利権の巣窟だった山下ふ頭を“ハマっ子の森”に大改造
- ⑥ 災害時にも「生きる活力」を市民に与える「自校式学校給食」を導入
- ⑦ 学校こそ地域の「共有財産」の理念に基づき「自己防衛型」教育委員会の体質を「全面刷新」
- ⑧ 定年55歳「退職自衛官」を「学校と地域を護る職員」に積極採用
他自治体採用の退職教員&青年海外協力隊経験者を「セカンドキャリア」で積極採用
- ⑨ 「地域の絆」を支える書店・新聞販売店・銭湯を斬新なアイデアで支援
- ⑩ 時代錯誤な「企業立地促進条例」を即時廃止



- ⑪ 行政の要諦たる「維持修繕」を充実すべく形骸化した「部・款・項・目・節」予算体系を抜本的に刷新 地元企業が担う「地域密着型公共事業」を入札改革で推進
- ⑫ 市会議員 1 人 1 億円の「予算提案枠」を創設
- ⑬ 「区長提案予算」を 18 区ごとに計上
- ⑭ 高齢者の知恵と乳幼児の元気を分かち合う「宅幼老所」を全区に開設
- ⑮ 高齢者・障害者「在宅介護」家庭を支える「タイムケア」の充実
- ⑯ 「横浜シニアトピア」構想に基づく「シニア専用ハローワーク」を設置
- ⑰ 実体を伴ったSDGs の象徴としての「木製ガードレール」を敷設
- ⑱ 「愛・地球博」の成功と教訓を活かして「横浜花博」を大改造
- ⑲ 消防・救急の司令塔を本庁舎に移転 経営戦略を担う市役所分室を上瀬谷に設置
- ⑳ 「上瀬谷 Archive パーク計画」に基づく「Decent Society」を横浜市民が体感する「種子 Seed Bank」「設計 Design Bank」「職人 Meister Studio」「映像 Image Theater」を設立

cf. 「Kew Gardens」「Victoria and Albert Museum」
「宇澤弘文」「イサム・ノグチ」「賀川豊彦」

「脱・お役所対応」宣言に基づく
ミッション&アジェンダ 20

